

## 週日の説教

金 大烈 神父 2010年3月4日(木)

### 《どこに心を注ぐか》

今日の福音(ルカ 16・19 31)では、イエス様がラザロと金持ちのたとえ話をなさいました。私がこの教会に来てから、もう何回かこのラザロのたとえ話をしてきました。しかし今日は、少し違う観点から考えてみたので、それを皆様と分かち合いたいと思います。

このたとえ話の中に出てきた『金持ち』というのは、どういう人でしょうか。この話で言っている『金持ち』というのは、“物を持っている人”という意味ではないと思います。“自分の心をどこに注いでいるのか”が、今日の福音のポイントだと思います。もっとはっきり言いますと、今日の福音の『金持ち』というのは、“利己的な者”のことをいっているのです。“自分のことばかり考えていて、他人のことや他の関わりについてあまり関心を注がない”、そういう人のことです。昨年この福音を読んだときにも、「金持ちが犯した一番の罪は、無関心である」と申し上げましたが、覚えているでしょうか。私たちは、どこに心を注いでいるかによって、生き方や考え方が全部変わります。肉を求める人には、肉しか見えません。しかし心を求める人は、自分でも気付かないうちに心的に豊かになろうとします。

今日の福音の金持ちの話は、ある意味では、今このミサに与っている私たちにもあてはまる話ではないかと思えます。皆様も金持ちではないでしょうか。よく考えれば、たくさんものを持っていますね。命を持っています。だから、考えたり憎んだり、いろいろなことができます。そして時間も持っています。体も持っています。友達も持っています。朝、空を見ると太陽が見えます。その太陽も自分のものです。夜になれば月や星も自分のものになります。咲いている花も、そして全てが自分のものです。そうではありませんか。そのように考えてみたら、私たちはものすごく豊かな存在です。しかし、その豊かさを分からずに、自分のことばかりを考えて、自然や人間、時間、全ての物との関わりを大切にしないで、無駄なことやむなしなことばかりを求めるようになってしまっているのではないでしょうか。

私たちは今、神様からいただいた全てのプレゼントを分かち合うことができない状態です。ともに傷みあい、ともに喜びあえる状態にはなっていません。だから私たちも、今日の福音で叱られた金持ちと同じになるのではないのでしょうか。

皆様、よく考えてみてください。私たちは考え次第では、世の中で一番の金持ちにもなれます。神様の前に、本当に豊かな存在にもなれます。そしてその逆の存在にもなれるのです。そういうことを意識しましょう。

この福音の『金持ち』の一番大きい罪は、いただいた贈り物に対して感謝することができなかつた、ということです。神様に一つも心を注ぐことができなかったのです。私たちもどんな環境、どんな条

件においてもまず何に心を使うべきか、いつも意識しなければならないでしょう。

では、今日の福音で「犬さえやってきてできものをなめた」と書かれているラザロという人は誰でしょうか。イエス様ではないかと思えます。皆様がいつも見ている（祭壇の上の）この教会の十字架がありますよね。この十字架について、いつか感想を申し上げたことがあります。皆様から見て右側には、イエス様の後ろ姿の陰が見えます。そして左側には、横から見た姿の陰が見えます。よくご覧になってください。右側の後ろ姿はどうですか？ 疲れ果てて全ての力がなくなった姿ですね。重さを感じられます。手につけられた釘によって十字架につけられています、いつかその重さで手が裂け、落ちてしまうのではないかと、という気がします。彼は全知全能だと言われています。しかし自ら一番悲惨な条件でこの世の中に現れ、そして私たちが犯すあらゆる罪の償いのためにあのように生贄となったのです。その方を私たちは、「イエス様」、「主」、「救い主」と告白しています。その告白が、本当のものになってほしいです。今まで、そして今この瞬間も、私が間違えていることによってイエス様の重たさがもっと大きくなっているかもしれません。さあ、よくご覧になってください。本当に重く感じられるでしょう。私たちは、このように心を注ぐことによって全てが見えるのです。

皆様よく考えていただきたいのです。今、何を求めているのでしょうか。それをよく考えてみますと、「私は神様から結構離れているが神様は私を見捨てられないのだろう。」という心が自然に生じると思えます。

今日の第一朗読(エレミヤ 17・5 10)で、エレミヤ預言者はこのように話されています。

**「呪われよ、人間に信頼し、肉なる者を頼みとし**

**その心が主を離れ去っている人は。」**

「呪われよ」と言っているのは、本当に「あなたたちが呪われればよい」と思っているのではありません。「こんなふうに進んでしまうと呪われた結果になってしまうよ」という警告です。

皆様よく考えてみましょう。私たちは金持ちです。しかし神様の前で豊かな金持ちになりましょう。そのために敏感な感性、敏感な目、敏感な心を持って、正しく見ることができるようによく振り返ってみましょう。

ありがとうございました。